



# 坂出事業所の TPM 活動

TPM マスコット(キャメロン君)

## 1. はじめに

坂出事業所は、1968年、香川県坂出市に坂出作業所として開設されて以来、プラントの建設、メンテナンスを主体に主に四国内の顧客を中心に事業展開をしてきた。

この度、TPM活動に対する評価として社内表彰制度である社長賞を受賞したので、以下にその概要を紹介する。

## 2. 導入の背景

全国的に当社を取り巻く経済環境が、ますます厳しくなる中、会社の将来のために、低コスト体質の基礎を築き、業界一コストに強い技術・技能を目指して、1999年にTPM活動のキックオフを行った。

## 3. 活動内容

### (1) 基本的な活動

図1に示す5部会、8本柱(分科会)を中心とした活動を行った。基本的な活動としては、保全カレンダーによるロス取り、巻紙分析、提案型工事、改善提案、工事管理フローに沿った活動を中心に行い、TPM活動のマスコットとして「キャメロン君」を採用し、真剣な中にも遊び心を取り入れた活動を心がけた。図2に自主改善活動のステップ診断事例を示す。ロス取りの具体例として図3に保全カレンダーによるロス取り事例を示す。

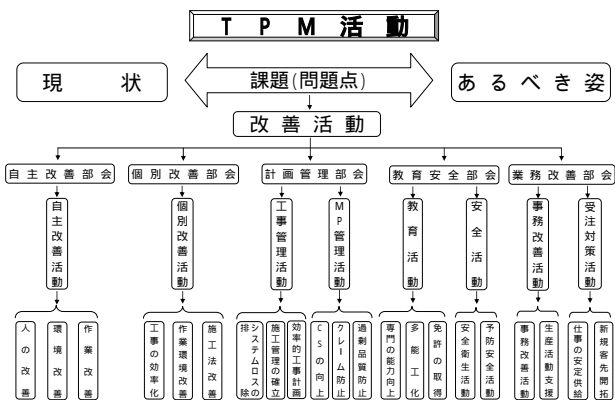


図1 活動体系図

専門活動	ステップ	建設		電計		保全		管理	
		自主部会	所長	自主部会	所長	自主部会	所長	自主部会	所長
自主改善活動	1 初期清掃								
	2 発生源困難箇所								
	3 自主管理基準								
	4 作業ロスの摘出								
	5 作業ロスの改善								
	6 標準化								
	7 自主管理の徹底								

診断済み ステップ活動中

図2 ステップ診断事例

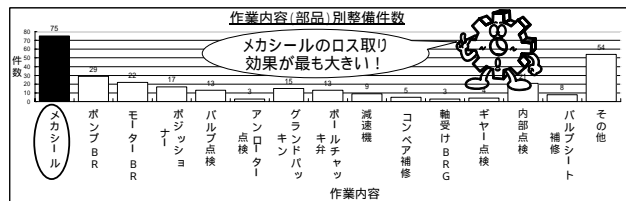
### (2) 保全カレンダーによるロス取り事例

保全カレンダーに毎月の修繕実績を記入していく。

	排煙脱硫廻り												メカシール												ポンプBR												モーターBG												その他												
	H 15 年												H 16 年												H 17 年																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
PU-A001																																																													
PU-A002																																																													
PU-A003																																																													
PU-A004																																																													
PU-A005																																																													

\* 次の修繕日および設備の限界を予測して事前準備をする。

データを層別に分類しグラフ化する。(内容別の例)



\* 内容別、機器別、シール別、工場別に分類

効果の大きいものからデータを分析し、ロス原因を突き止めロス取り計画をスケジュール化する。

メカシールの整備工数の削減	対策を要する(含むメーカー)	短寿命のものについて客先に検討依頼する	修理回数	ポンプ番号
手整備を減らす	構造を変える	運転方法の変更	1回	PU-A002 PU-A007 P-006
予備品交換方式の変更	頻度の多いものについて、検討・提案	交換作業の効率化	2回	PU-B007 PU-A009 P-501A
交換方法を改善	検査・改善提案	起動方法の変更	3回	PU-A502 P-503A P-035A
突発故障を削減	検査・改善提案	起動停止回数の削減	4回	PU-B402 PU-006 P-004
	検査・改善提案	整備方法の改善		PU-A006 P-018A
	客先検討依頼			P-003A
	客先検討依頼			P-005A

(取替か? 修繕か?)

作業工程に沿って細かくロス取りを行い、改善できたものは標準化して、次の効果の大きいものに目標を移す。

## 4. 今後の進め方

2006年9月には、パートのキックオフを行った。パートでは、パートでの活動を基本に、目標に対し最も効果的な手順を踏んで大きな成果をもたらすダイレクトプレーに挑戦し、変化にすばやく対応ができ、CS(顧客満足度)、ES(社員満足度)の向上へ繋がる活動を展開している。

松田 政春(第二事業本部 坂出事業所)



図3 保全カレンダーによるロス取り事例(活動板)